

第9期瀬戸市高齢者福祉計画・介護保険事業計画
全体評価表（令和7年度年間評価）

| 評価項目 | 総合評価 |
|-------------------------------------|------|
| 基本目標1 高齢者が生きがいを持って活躍できる社会の実現 | B |
| 基本目標2 積極的な健康づくりと介護予防の推進 | B |
| 基本目標3 住み慣れた地域における生活の継続支援 | B |
| 基本目標4 つながり支え合い、尊厳を持って暮らせる地域社会の実現 | C |
| 基本目標5 認知症の早期対応と共生社会をめざす施策の推進 | C |
| 基本目標6 安心できる医療と介護の連携 | B |
| 基本目標7 介護保険事業の円滑な実施 | A |

- A 優れた創意工夫等を行い、目覚ましい効果を上げることができた
- B 創意工夫等を行い、一定程度の効果を上げることができた
- C 課題解決に向け、改善に取り組んでいるが不十分である
- D 課題が解決されず、効果が上がっていない

全体評価

B

担当部署評価

令和7年度年間評価において、各事業は方法を工夫しながら、事業の周知に努め、参加者及び利用者等の増加に向けて尽力した。目標値に達することができない事業もみられたが、関係機関・協力者等の協力を得ながら事業を実施できた。令和8年度は、第9期計画の総評価を実施しながら、令和9年度を始期とする第10期計画策定に向けて必要な事業の確認及び事業内容の見直し等も検討していく。

評価委員会評価

全体的に創意工夫や新しい視点を取り入れる点が見受けられる。今までの反省点から来年度新たな工夫をしながらの取組に期待したい。
各講座において、市民にとって、各講座開催の周知だけでなく、講座内容の記載方法についても再考し、対象となる方や、情報を求めている方に対し、さらに分かりやす

く周知できるように努めてほしい。

令和8年度は、第9期計画として課題を改善したものと、第10期へ継続していく課題について把握していく。

第10期における年間目標値の設定において、令和6～8年度の3年かけて基準値の1割増を目標とするような目標値設定根拠となる事業が多くみられるが、適切な目標値の設定について判断いただきたい。また、長期目標を立て、変化に対応できるような目標にしていきたい。